

[横浜市吉野町市民プラザ]
令和 6 年度業務報告及び収支決算
[吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施 設 名	横浜市吉野町市民プラザ
所 在 地	横浜市南区吉野町 5-26
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上5階建
敷地・延床面積	建築面積 2,760.08m ² (市民プラザ部分：地上1階～5階)
開 館 日	平成元年7月15日

2 指定管理者

団 体 名	吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ
所 在 地	横浜市西区西平沼町 6-1 tvk ecom park (ヨコハマ暮らし館内)
代 表 者	代表取締役社長 熊谷 典和
代表事業者設立年月日	昭和 49 年 9 月 10 日
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成 28 年 4 月 1 日

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

指定管理の 2 期目 3 年目に当たる令和 6 年度は令和 5 年度の経験を活かし、徐々に通常に戻りつつあるイベント開催状況も鑑みた事業計画を行いました。

継続している事業はより企画内容の充実をはかり、新しい形でのダンスイベント「吉野町ダンスカップ 2024」を立ち上げたり、3 館連携プロジェクト計画「スクランブル・ダンスプロジェクト」に加えて写真講座、ライター講座も 3 館連携で行い、幅広く参加頂くことができました。

施設運営では清掃、点検を日常的に行い、共同事業体の専門性を活かし小規模修繕を行いました。設備、施設の経年劣化による備品の買い替えなども必要に応じ行いましたが、節約の結果今期は黒字で収支を終えることができました。

(2) 令和 6 年度の業務の方針

ア 全体について

令和 6 年度は第二期指定管理期間の 3 年目。提案書に掲げた基本方針、諸業務の達成や新たな取り

組みへ着手するとともに継続業務を確実に遂行できるよう努めました。

「吉野町音楽空間」「アート＆クラフトマーケット」「ギター講座」などの継続事業のほか、新しいダンスイベントの形となる「吉野町ダンスカップ」の立ち上げ、ウェルカムプラザについて今一度浸透させるべく参加団体コンサートと企画趣旨の説明を併せた形で「ウェルカムプラザコンサート」を行いました。

イ 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

引き続き利用者の気持ちに沿った利用者の気持ちに沿った施設運営を職員一同で心がけ、地域へ向けた事業も実施しました。結果ホール利用率(日)91%と令和6年度の目標にはわずかに及びませんでしたが総来場者 58,103名と昨年度を大幅に上回る市民の方にご来場頂きました。

ウ 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

芸術・文化活動を応援するための優先予約制度ウェルカムプラザの定期利用団体は8団体で、年13,223名の利用がありました。特に横浜交響楽団は年間合計5,338名、南区体育協会健康体操教室は年間合計1,544名の利用がありました。

エ 使命3 次世代を担う人材を育む

楽器に興味を持った子どもたちに気軽に触れてもらえるように「1日ギター教室」では小学生の参加を受け付けました。夏休みには「ホール探検ツアー」、「キッズアート講座」を行いました。

「光のぶらむなあと 水辺の光コンサート」ではキッズダンス団体や中学校吹奏楽部の参加がありました。

オ 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

文化芸術団体への活動継続支援団体への「来て見て市民プラザ」の取り組みとして今年度は「きてみて市民プラザ ウェルカムプラザコンサート」を行いました。コンサートとウェルカムプラザについてのスライド上映の二部構成で行い、来場者にウェルカムプラザについての認知を得る機会を作りました。

カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設の維持に努めました。下水道河川局吉野ポンプ場にご参加頂いて防災訓練を行い、施設見学も行って理解を深めました。効率的な経費の使用を心がけ、安全な施設環境作りに従事しました。

キ 使命6 新型コロナウイルス感染症等の影響を想定し施設運営を継続する

コロナ禍は過ぎたものの感染状況に応じたリスク管理に基づく自主事業運営を行い、日々換気、消毒を行い安心出来る利用環境を整えました。

4 運営組織の構造、人員配置

共同事業体各社から文化施設での実務経験のある職員を配置し、職員全員が、お客様対応・受付業務・貸館業務等に習熟し、安定した運営を実現できる体制で施設運営を行いました。舞台技術、設備、清掃各担当には、専門的な知識と経験を有する職員が従事しました。

自主事業や突発的な施設不具合などの際は、両プラザ相互の人的応援に加え、共同事業体各社がバックアップし、速やかに対処を行いました。

5 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	貸館利用率	ホール	95%	94%	95%	91%		97%
		ギャラリー	45%	56%	48%	47%		58%
		会議室	49%	50%	51%	51%		53%
		スタジオA	64%	65%	62%	64%		70%
		スタジオB、C	74%	75%	80.5%	85%		88%
2	総来場者数	54, 926人	20,000 人	56,089 人	58,103 人		35,000 人	
3 ★	利用者アンケート回収率	46.8%	60%	80.5%	60%		60%	
4 ★	利用者インタビュー	3件	20件	14件	20件		20件	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績			
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	事業の出演者からアンケート実施して状況把握		
		R 5 達成指標	利用者アンケートによる現状把握。		
		R 5 実績	利用者アンケートを実施し、アンケート結果を分析		
		R 6 実績	利用者アンケートを実施し、スタッフにフィードバック 今年度は紙でのアンケートを行わず、受付、事前打ち合わせなど口頭にて聞き取りを行うインタビューとしての形を取った。 スタジオ利用者に関しては機材の老朽化の指摘が多くだったのでアンプ、スピーカーなど一部買換えを行った。 はまっこカードの更新を直接施設で出来ると勘違いされる方が多く、郵送用紙を多めに用意するよう改善した。		
		R 7 実績			
		R 8 達成指標	利用者インタビューによる改善効果の検証。		
		R 8 実績			
2 ★	利用者と施設をつなぐ「ピアノプラ	R 4 実績	「朝からグランドピアノ」（「ピアノプラン」）を実施し、新規利用者を増やす取り組みを行った。		
		R 5 達成指標	普段施設を利用されていない方が、来館され施設を利用するきっかけとなる。		

3 ★	「ピアノプラン」、利用者同士をつなぐ「来て見て市民プラザ（仮称・新規）を実施する	R 5 実績	「ピアノプラン」は、「朝からグランドピアノ」の開催及び「ホールでグランドピアノ」を再開し、新規来場者を増やす取り組みを行った。また「来て見て市民プラザ」の新事業として「来て見て市民団体クラシック・吹奏楽演奏会」を開催し 5 団体の出演と一般来場者を募集して実施した。
		R 6 実績	「ピアノプラン」は、「朝からグランドピアノ」、「ホールでグランドピアノ」を引き続き開催し、新規来場者を増やす取り組みを行った。また「来て見て市民プラザ」の事業として「来て見て市民プラザウェルカムプラザコンサート」を開催し 3 団体の出演と一般来場者を募集して実施した。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	文化芸術活動に参加されたい方々を、募集している団体につないでいく。
		R 8 実績	

3 ★	利用者の年代や居住エリアを分析し、ターゲットに合わせた広報手段で発信する	R 4 実績	事業アンケートを分析し、コンテンツによりターゲットを分析した。
		R 5 達成指標	来館者アンケートを実施し、分析・確認をして広報手段などについて検討し、再確認・見直しを行う。
		R 5 実績	利用者アンケートを実施し、アンケート結果を分析
		R 6 実績	事業アンケート（参加者、来館者）を実施し改善点を分析 利用者年代が上がっている為、ホールの前列と後列のエアコンの効きに差があると体に負担が大きいというご指摘が多く調査を依頼した。インターネット、SNS 発信よりまだ紙でのチラシが効果がある点も判明した。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	これまでの来館者の年代・エリア推移を精査し、結果を検証する。
		R 8 実績	

ウ 使命 1 を達成するために重点的に取り組む事項

- ・「ピアノプラン」「来てみてプラザ」「ウェルカムプラザ」「U25 プラン」などについて、利用者のニーズ調査や具体的な実施方法の検討を行い、可能なものから着手します。

エ 使命 1 の令和 6 年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
利用率の目標	ホール、ギャラリー、会議室、スタジオ A、スタジオ B・C において令和 6 年度の利用率の目標を設定	会議室、スタジオ B・C は当初の目標を達成したがホール、ギャラリー、スタジオ A はわずかながら未達に終わった。しかし事務所スタッフ、受付スタッフとも利用率に关心を持つきっかけとなった。	年間の総来場者数は昨年度を上回っているものの、ホールからスタジオ A、スタジオ A からスタジオ C へなど規模の縮小をはかる団体が少しづつ始めている。広めの施設の利用促進が来年度の課題。

利用者と施設をつなぐ「ピアノプラン」を実施する	自主事業として、施設の利用促進と新規利用者の来場促進を兼ねて年間を通して随時紹介し、定期的に開催。	スタジオ A で行う「朝からグランドピアノ」は主婦の方の利用が多く、「ホールでグランドピアノ」は発表会前の親子参加など幅広い年齢層の方にご利用頂くことができた。	当日支払いの為容易にキャンセル出来るところがメリットでありデメリットでもある。極力キャンセルを減らせるような運用を目指す。 利用が少ない月に多めに開催できるような運用を構築する。
-------------------------	---	--	--

(2) 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	体験型事業の事業数および実施回数	8 事業 17 回	9 事業 26 回	9 事業 24 回	10 事業 29 回		10 事業 28 回	
2	アウトリーチ事業の実施回数	8 回	7 回	7 回	7 回		9 回	
3	来場者（参加者）満足度	4.53	4.5 (5 段階)	4.51	4.5		4.5 (5 段階)	
4 ★	講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業	5 事業 15 回	5 事業 15 回	5 事業 18 回	5 事業 18 回		5 事業 15 回	
5 ★	横浜トリエンナーレ、横浜音祭り、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 参加事業の開催	1 回	1 回	1 回	1 回		1 回	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	事業の参加者アンケートを分析、次の企画に生かす
		R 5 達成指標	事業の参加者アンケートを分析し、次の企画に分析結果を生かす
		R 5 実績	自主事業のアンケートを分析、次の企画に生かす
		R 6 実績	自主事業のアンケートを分析、スタッフに共有しつつ次の企画に生かす
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	事業の参加者アンケートをこれまでと比較し、達成度の推移を見る
		R 8 実績	
2 ★	文化芸術活動に役立つ講座の開催	R 4 実績	写真講座やアート&クラフトマーケットを開催
		R 5 達成指標	来館者のニーズを把握し、今後の企画に生かす。
		R 5 実績	チャレンジ・ザ・ギターワークショップ 2023 や夏休みおやこ映像講座を開催しアンケートをとり、ニーズ把握を行った。

		R 6 実績	3 館連携の映像講座や写真講座、ライター講座を開催
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	過去の参加者のデータをもとに、講座開催の成果の検証を行う。
		R 8 実績	
3 ★	アートリーチ事業を地域のアーティストや利用団体と協働で開催	R 4 実績	学校教育プログラムやアウトリーチ事業で地域協力を実施
		R 5 達成指標	地域のアーティストや団体と協働し、普段施設に来館されない方々に、芸術文化に触れていただく機会を提供する。
		R 5 実績	来て見て市民団体「クラシック・吹奏楽演奏会」では当館利用団体と協議で開催。一般来場を募集し、芸術文化に触れていただく機会を提供した。
		R 6 実績	来て見て市民プラザ・ウェルカムコンサートを開催。当館利用団体と内容を協議、各団体にイベント内容にふさわしい形態でご参加頂いた。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	あらたに施設を利用し始めたアーティストや団体と、新しいイベントを開催する。
		R 8 実績	
4 ★	オンラインイベントの開催	R 4 実績	ギターワークショップの受講生に向けて収録映像を公開
		R 5 達成指標	施設主催の講座に参加する受講者が、オンラインで成果を発表できる機会を作る。
		R 5 実績	おやこ映像講座参加者の映像作品を WEB(HP) で公開。吉野町音楽空間のステージを収録し、HP で公開する準備を行った。
		R 6 実績	吉野町音楽空間のステージを収録し、HP で公開する準備を行った。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	5 年間の成果の精査を行う。
		R 8 実績	

ウ 使命 2 を達成するために重点的に取り組む事項

- ・様々な芸術に関する講座、年齢・人数に関わらず楽しめる体験講座を行い、利用者の文化芸術活動をはじめるきっかけづくりに努めます。また地域のアーティストや団体と、より関係を深めていきます。

エ 使命 2 の令和 6 年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
文化芸術活動に役立つ講座の開催	ギターワークショップの実施	年間のシリーズとして 1 日ギター教室、チャレンジザギター、ステップアップザギターと段階的な講座を行うことでスキルを磨けると好評を頂いている。	・参加者が休むとついていけなくなってしまう ・自分のレベルに合っていない講座を選んでしまう

多様な糸口をもったであいの事業の開催	手作り作品を販売する「アートアンドクラフト・マーケット 2024」の実施	幅広い年齢層のご来場者があり、市民の交流の場となった。	来場者数アップを見込んで光のぶろむなあどに日程を合わせたがあまり効果は得られなかった。単独での来場を見込むための対策が必要。
--------------------	--------------------------------------	-----------------------------	--

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	子どもや親子連れをターゲットとした事業数	5事業	5事業	5事業	5事業		8事業	
2 ★	学校や保育園と連携した事業	1事業	3事業	1事業	1事業		3事業	
3 ★	市民とともに企画・実施する事業	3事業	3事業	5事業	1事業		3事業	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績						
1	近隣の文化団体の状況把握	R 4 実績	事業出演 6 団体のうち 4 団体からアンケートを回収した					
		R 5 達成指標	アートネットワーク会議を開催し、状況を把握する。					
		R 5 実績	市民団体代表とアーティスト 1 名と 3 者で市民プラザの役割や地域貢献について打合せした。					
		R 6 実績	市民団体代表と市内のキッズダンス団体の現状、課題などをリサーチした。					
		R 7 実績						
		R 8 達成指標	アートネットワーク会議から生まれた活動を支援する。					
		R 8 実績						
2	子どもたちや学校の定性分析（インタビュー調査）	R 4 実績	インタビュー調査未実施					
		R 5 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に 3 件反映する。					
		R 5 実績	近隣小学校をインタビューし、ニーズがあったウォールアートを展示する事業をギャラリー（ギャラリー・ホワイエ）で企画したが発表の形式について、小学校の方で活動発表会形式を選ぶ形となり展示企画については中止となり、未実施となった。					
		R 6 実績	インタビュー調査未実施					
		R 7 実績						
		R 8 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に 5 件反映する。					
3	若い世代	R 4 実績	U25 プランを 1 団体に適用					

★ の文化芸術活動を応援する事業の実施	R 5 達成指標	「U25 プラン」「ジュニア割引」「ウェルカムジュニア」等を実施し、若い世代の利用を応援する。
	R 5 実績	U25 プランを 1 団体に適用。ジュニア割引については、若手落語会、ギターカルテット「LIBERTA（リベルタ）」公演で実施した。LIBERTA（リベルタ）公演は若手ギタリストを応援する事業として公演を開催した。
	R 6 実績	U25 プランを 2 団体に適用。若手落語会においてチケットのジュニア割引を行い、集客につながった。
	R 7 実績	
	R 8 達成指標	近隣・地元の保育園・幼稚園・小中学校と連携し、より積極的に活動を応援する。
	R 8 実績	
4 ★ 文化団体や文化活動をする人の活動に協力	R 4 実績	地域のギター団体についてアンサンブルギターコンサートを開催し出演機会を提供した。
	R 5 達成指標	地域の文化活動団体が活動する際、広報などの協力をする。
	R 5 実績	「光のぶらむなあど」地域で活動している人や団体の出演を募集し、コンサートでサポート、広報活動も行った。来て見て市民団体「クラシック・吹奏楽演奏会」では文化団体 5 団体を出演者として調整した。
	R 6 実績	「光のぶらむなあど 水辺の光コンサート」では出演団体を公募、地域のキッズダンス団体や中学校吹奏楽部の参加があり若い世代の発表の場をサポートした。「来て見て市民プラザ ウェルカムプラザコンサート」では参加団体 3 団体を出演者として調整し、スライド上映を行ってウェルカムプラザの企画アピールを行った。
	R 7 実績	
	R 8 達成指標	地域の文化活動団体と協働し、事業を開催する。
	R 8 実績	

ウ 使命 3 を達成するために重点的に取り組む事項

- ・近隣・地元の学校や保育園の協力を得て、作品の展示会、音楽などの鑑賞会、ワークショップなどを開催し、文化芸術体験を通して地域の皆さんと交流する機会を作ります。

エ 使命 3 の令和 6 年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
子どもや親子が文化芸術体験の芽を育めるような事業の開催	小学生と保護者を対象に、夏休みの自由研究にも対応するキッズアート講座を実施。「小さなお花畠」が展開する【まるたまクラフトワークショップ】で木材とぼん	自由研究に対応するということで、親子で熱のこもった取り組みとなり、出来上がった作品を大喜びで持ち帰る参加者の方々が印象的でした。	すぐに申し込み定員に達したが、どうしても直前キャンセルも発生し、行きたくても行けなかつた方も出てしまった。

	ぼりに絵付けという内容で行った。		
市民の力を引き出すための、市民とともに企画した事業の実施	子どもの演奏やダンスの発表「水辺の光コンサート」	日枝小学校キッズクラブ、H KIDSなど近隣の学校、団体の発表の場を提供することができた。	冬場の野外での開催もあり、観客の数が少なめなので「出てよかったです！」と思って頂ける工夫が必要。

(4) 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	5事業	6事業	8事業	8事業		6事業	
2	社会的包摂の実現を目指す事業数	1事業	3事業	4事業	4事業		4事業	
3 ★	連携する団体数	3団体	6団体	5団体	5団体		8団体	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績						
1	連携したことによる地域の定性分析	R 4 実績	連携する地域行事に協力					
		R 5 達成指標	連携する地域行事の参加者を把握する。					
		R 5 実績	連携する地域行事で、参加団体（出演者）のコンサート担当窓口としてイベント運営に協力した。（光のぶろむなあど）					
		R 6 実績	連携する地域行事で、参加団体（出演者）のコンサート担当窓口としてイベント運営に協力し、Y校OBバンド、消防音楽隊の出演をセッティングした。（光のぶろむなあど）					
		R 7 実績						
		R 8 達成指標	連携する地域行事の発展・拡大を目指す。					
		R 8 実績						
2	社会的包摂の実現を目指す事業への参加者へのヒアリング・分析	R 4 実績	事業参加者へアンケート調査を実施					
		R 5 達成指標	ヒアリングにより参加者の意識を調査・分析し、次の事業へ反映させる。					
		R 5 実績	自主事業、3館連携事業で事業を開催した。事業企画の段階で参加者と企画内容についてヒアリングし事業内容に反映した。					
		R 6 実績	自主事業、3館連携事業で事業を開催した。事業企画の段階で参加者と企画内容についてヒアリングし事業内容に反映した。					
		R 7 実績						

		R 8 達成指標	ヒアリング結果を反映した事業の参加者に、変化を問うヒアリングを実施する。
		R 8 実績	
3 ★	施設内外で地域情報の収集と提供、WEB に動画掲載	R 4 実績	館長日誌 (SNS 発信) による施設内情報提供を実施
		R 5 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、HP 等で紹介をする。
		R 5 実績	市民団体との協働する事業を開催し(吉野町音楽空間、来て見て団体クラシック・吹奏楽演奏会他) 地域情報を収集。吉野町音楽空間の動画掲載について準備した。施設内情報提供については SNS 発信 (X : 旧 twitter) で定期的に発信した。
		R 6 実績	市民団体との協働する事業を開催し(吉野町音楽空間、来て見て市民プラザ ウェルカムプラザコンサート) 地域情報を収集。吉野町音楽空間の動画掲載について準備した。施設内情報提供については SNS 発信 (X : 旧 twitter) にインスタグラムをあらたに加えて定期的に発信した。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、HP、SNS (X、Instagram) 等で紹介をする。
		R 8 実績	
4 ★	未来開発プロジェクトの実施	R 4 実績	プロジェクト構成人材を想定した人と打合せ実施
		R 5 達成指標	地域の人材との連携を深める。
		R 5 実績	地域の若手ギタリストと公演を企画し開催する等連携を深めた。
		R 6 実績	地域の若手ギタリストの公演の協力事業を企画し、プロモーションも積極的に行った。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	施設と地域の人材によるあらたなプロジェクト・チームを立ち上げる。
		R 8 実績	
5 ★	こどもと一緒に参加しやすい工夫（おむつ替え、授乳の場所を提供）	R 4 実績	ゼロ歳から参加できるゴスペルコンサートを実施
		R 5 達成指標	安心して授乳などができるスペースを工夫する。
		R 5 実績	FUN ! FUN ! FUN ! Vol3.5 ではイベント当日、ホワイエ控室を障害者の休憩スペースとして活用し、地域のこども達のイベント参加しやすいよう配慮した。
		R 6 実績	吉野町ダンスカップ 2024 では、ベビーカーの預かりサービス、休憩スペースを多く確保し、安心して参加できる環境を整えた。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	来館者に聞き取りを行い、ご意見・要望などを収集する。 物理的にも実行できる点は、反映し改善する。
		R 8 実績	

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

- ・地域の魅力の発掘、人材との出会い、および地域の団体との協働に取り組むべく「市民プラザ未来開発プロジェクト」の準備・実施、3館連携での「街ナカアート」の準備・実施、「ローカルコミュニティプラン」等を展開していきます。

エ 使命4の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
異なる領域の市民利用施設による施設間連携ネットワークへの参画	睦町地域ケアプラザと協力して、アウトリーチ事業（野外映画会）に協力、共催した。野外映画会では、プロジェクターや大型スピーカーなど映画会に必要な備品を貸し出し、オペレート協力を行った。	イベントに全面協力し、地域連携を深めることができた。	数年連続で開催できているので、途絶えないような協力体制の構築を図る。
社会的包摂の実現を目指す事業の開催	障害のある人もない人も一緒に1つのテーマに向かって仕上げていくインクルーシブダンスのワークショップを開催。3館連携事業。その他母子家庭へのクリスマスプレゼントを届ける事業であるみなみクリスマス、クリスマスサンタ、ラポールとの共催事業で障害者とその保護者のダンスイベント、性別、障害、年齢関係なく集まる音楽サークル「ユニバーサルメロディズ」への協力を行った。	岩間、吉野町でワークショップ、関内ホールでの成果発表。参加された方の目的意識も年々高まっている。 協力事業に関しては運営に直接携わっている訳ではないものの、地域で行われている取り組みについて関心を深めるきっかけとなっている。	この事業をきっかけに各館がインクルーシブ事業を広げられるようノウハウをまとめが必要がある。

（5）使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	0件	0件		0件	

2	法定点検等の実施	100%	100%	100%	100%		100%	
3	修繕予算の執行率	117%	90%	94%	150%		90%	
4 ★	職員及び共同事業体構成員自らが実施する小破修繕	5 件	5 件	5 件	5 件		5 件	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績						
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	事業参加者アンケートに施設の使いやすさや快適さの設問を設けてアンケート回収した。					
		R 5 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。					
		R 5 実績	施設の使いやすさや快適さの設問を設けて、利用者アンケートと事業参加者アンケートをとり意見収集した。					
		R 6 実績	施設の使いやすさや快適さの設問を設けて、利用者アンケートと事業参加者アンケートをとり意見収集した。					
		R 7 実績						
		R 8 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。					
		R 8 実績						
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	省エネカルテを作成し、光熱水費節減に取り組んだ。					
		R 5 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。					
		R 5 実績	省エネカルテを作成し、光熱水費節減に取り組んだ。					
		R 6 実績	省エネカルテを作成し、光熱水費節減に取り組んだ。					
		R 7 実績						
		R 8 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。					
		R 8 実績						
3 ★	施設設備は長く使うことを前提に負荷の少ない運用	R 4 実績	施設点検、利用者への正しい施設の使い方の案内、備品等の小破修繕に取り組んだ。					
		R 5 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見に心がける。					
		R 5 実績	日常的な機材点検、施設建具・設備、備品等の小破修繕を行い負荷の少ない運用を心掛けた。					
		R 6 実績	日常的な機材点検、施設建具・設備、備品等の小破修繕を行い負荷の少ない運用を心掛けた。					
		R 7 実績						
		R 8 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見に心がける。					
		R 8 実績						

★ 4	事業別収支計画の立案、結果の分析を次回に活用	R 4 実績	事業別に収支計画を立て、次の分析に活用した。
		R 5 達成指標	月次収支の精査、事業単位での収支精査。分析の結果は次回に活用する。
		R 5 実績	月次、事業単位で収支を精査した。次の事業企画に活用するよう分析した。
		R 6 実績	月次、事業単位で収支を精査した。次の事業企画に活用するよう分析した。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査。
		R 8 実績	

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ・機材の取扱い研修を実施し、職員が利用者に使い方等を案内するとともに、日頃から備品の状態を確認し、異常を速やかに認識し対応できる体制づくりに努めます。
- また、ギャラリー・ホールについて、予約システムの予約期間を過ぎた空き枠を活用しての利用料収入の増加、他の室場に関しても空き状況を分析し、利用率増加のために役立てます。

エ 使命5の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
備品等の適切な管理	スタジオ入れ替え時等の機材点検で備品の状態を把握する。	舞台担当者と事務職員1名で対応していることにより、点検の経過がオープンになり、備品管理について職員全体の関心が高まった。	経年劣化により使用不可になる備品が増えているので、優先順位つけて効果的に購入、交換できるよう意識する。
リスクを想定し、対処方法や対応体制を定めるリスクマネジメントの徹底	開館中は施設内巡回、監視カメラで常に状況を把握し、異常が疑われる際には職員が現場確認して関係機関に通報する。	敷地に隣接する南警察署吉野町交番と随時相談しながら、不測の事態があったときの対応について迅速に対処できるようコンタクトをとっている。日頃からこどもが来場した際、スタッフは対応できるものについては丁寧に対応している。	駐車場に監視カメラがないこと。駐車場で具合が悪くなられる通行人の方もいて迅速な対応がとれないことがある。

6 令和6年度の決算

別紙「令和6年度「吉野町市民プラザ」収支予算書及び報告書」参照

令和6年度 「吉野町市民プラザ」収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	66,013,363	237,975	66,251,338	66,251,338	0	横浜市より
利用料金収入	16,600,000		16,600,000	17,868,450	△ 1,268,450	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	3,200,000		3,200,000	1,961,900	1,238,100	
雑入	1,142,000		1,142,000	1,039,558	102,442	
印刷代	42,000		42,000	77,546	△ 35,546	受益者負担のコピー代
自動販売機手数料	900,000		900,000	795,053	104,947	自動販売機5台分
駐車場利用料収入			0		0	
その他（協賛金、助成金等）	200,000		200,000	166,959	33,041	キャッシュレス決済手数料補填分
収入合計	86,955,363	237,975	87,193,338	87,121,246	72,092	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	53,348,931	0	53,348,931	53,558,244	△ 209,313	
給与・賃金	51,120,831		51,120,831	51,323,659	△ 202,828	舞台技術員人件費を含む 最低賃金改定等により増額
社会保険料	500,000		500,000	415,239	84,761	共同事業体各社で出向者分を負担、臨時雇用職員分を計上
通勤手当	1,728,100		1,728,100	1,819,346	△ 91,246	
健康診断費			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
事務費	2,407,575	0	2,407,575	2,272,310	135,265	
旅費	50,000		50,000	14,290	35,710	
消耗品費	400,000		400,000	492,014	△ 92,014	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	70,575		70,575	117,297	△ 46,722	
通信費	1,200,000		1,200,000	1,160,117	39,883	情報環境整備のため提案書より増
使用料及び賃借料	125,000	0	125,000	114,240	10,760	
横浜市への支払分	125,000		125,000	114,240	10,760	目的外使用料
その他			0		0	
備品購入費	62,000		62,000	141,700	△ 79,700	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000	53,980	6,020	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	100,000		100,000	92,944	7,056	
リース料	200,000		200,000	79,728	120,272	
手数料	90,000		90,000		90,000	
地域協力費	50,000		50,000	6,000	44,000	
事業費	2,880,000	0	2,880,000	1,365,477	1,514,523	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0		0	
自主事業費	2,880,000		2,880,000	1,365,477	1,514,523	教育プラットフォーム、広報費を含む
管理費	22,070,995	0	22,070,995	22,999,011	△ 928,016	
光熱水費	6,390,995	0	6,390,995	6,975,965	△ 584,970	
電気料金	6,090,995		6,090,995	6,096,094	△ 5,099	電力契約見直し
ガス料金	0		0		0	
水道料金	300,000		300,000	879,871	△ 579,871	
清掃費	4,650,000		4,650,000	4,543,000	107,000	
修繕費	800,000		800,000	1,202,086	△ 402,086	
機械警備費	410,000		410,000	394,236	15,764	
舞台技術員	0		0		0	
設備保全費	9,820,000	0	9,820,000	9,883,724	△ 63,724	
空調衛生設備保守	3,500,000		3,500,000	3,369,600	130,400	
消防設備保守	420,000		420,000	372,600	47,400	
電気設備保守	290,000		290,000	259,200	30,800	
害虫駆除清掃保守	190,000		190,000	172,800	17,200	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	5,420,000		5,420,000	5,709,524	△ 289,524	舞台音響照明機器保守費、ロールバックニア、EV保守費等
共益費	0		0		0	
公租公課	5,056,188	0	5,056,188	4,971,348	84,840	
事業所税			0		0	
消費税	4,885,188		4,885,188	4,968,236	△ 83,048	
印紙税	21,000		21,000	1,884	19,116	
その他（）	150,000		150,000	1,228	148,772	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,191,674	0	1,191,674	1,466,759	△ 275,085	
本部分	916,674		916,674	916,674	0	経理事務負担分、税理士報酬負担分、HP制作保守費
当該施設分	275,000		275,000	550,085	△ 275,085	
ニーズ対応費			0		0	
支出合計	86,955,363	0	86,955,363	86,633,149	322,214	
差引	0	237,975	237,975	488,097	△ 250,122	